

# On shifted $Q$ polynomials

杉野裕子

広島大学大学院教育学研究科 M1

December 21, 2016

- ① はじめに
- ② 予想
- ③ ずらし  $Q$  多項式
- ④ 現時点までの成果
- ⑤ トーラス結び目
- ⑥ 絡み目の場合

# Q 多項式の定義

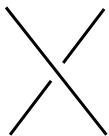
## Definition

絡み目  $L$  に対する  $Q$  多項式  $Q_L$  を以下の (i), (ii) で定義する.

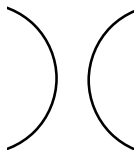
- (i)  $\bigcirc$ : 自明結び目  $\Rightarrow Q_{\bigcirc} = 1$
- (ii)  $Q_{L_+} + Q_{L_-} = x(Q_{L_0} + Q_{L_\infty})$



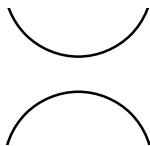
$L_+$



$L_-$



$L_0$



$L_\infty$

# 例

- 三葉結び目

$$Q_L(x) = 2x^2 + 2x - 3$$

- 8の字結び目

$$Q_L(x) = 2x^3 + 4x^2 - 2x - 3$$

## 注意

$Q$  多項式は、結び目に対しては負冪の項はなく、通常が多項式である。  
 $\mu$  成分の絡み目に対しては、 $1 - \mu$  が最小次数となる。

# 変数変換

## 命題

結び目の  $Q$  多項式  $Q(x)$  の最高次の係数が正のとき,  
 $Q(x + N)$  の全係数が正になるような  $N \in \mathbb{N}$  がとれる.

# $N$ としてどれくらいの値をとれるか？

- $N = 1$  のとき ダメ

## Example

$P(3, 3, 3)$  に対して

$$Q(x) = 2x^8 + 8x^7 + 2x^6 - 28x^5 - 24x^4 + 34x^3 + 28x^2 - 18x - 3$$

$$Q(x+1) = 2x^8 + 24x^7 + 114x^6 + 264x^5 + 286x^4 + 90x^3 - 40x^2 - 12x + 1$$

$$Q(x+2) = 2x^8 + 40x^7 + 338x^6 + 1564x^5 + 4296x^4 + 7106x^3 + 6856x^2 + 3510x + 729$$

- $N = 2$  のとき 11 交差まで確認済み

- 1 はじめに
- 2 予想
- 3 ずらし  $Q$  多項式
- 4 現時点までの成果
- 5 トーラス結び目
- 6 絡み目の場合

# 予想

## 予想

結び目に対して、 $\mathbb{Q}$  多項式の最高次の係数が正ならば、 $x$  を  $x + 2$  に変数変換して得られる多項式の全係数はすべて正である。



# 最高次の係数

予想において  $Q$  多項式の「最高次の係数が正」であることを仮定しているが、 $Q$  多項式の最高次の係数が負になる場合もある。

## Example

- $12_{n328}$   $Q(x) = -2x^7 + 20x^5 + 16x^4 - 28x^3 - 20x^2 + 10x + 5$
- $12_{n426}$   $Q(x) = -2x^7 - 2x^6 + 16x^5 + 22x^4 - 20x^3 - 30x^2 + 8x + 9$
- 交代的ならば最高次の係数が正であることは Kidwell が証明済み

- 1 はじめに
- 2 予想
- 3 ずらし  $Q$  多項式**
- 4 現時点までの成果
- 5 トーラス結び目
- 6 絡み目の場合

# ずらし $Q$ 多項式

## Definition

絡み目  $L$  の  $Q$  多項式  $Q_L(x)$  について,  $x$  を  $x+2$  に変数変換して得られる多項式  $Q_L^*(x)$  を  $L$  のずらし  $Q$  多項式という.

## Example

- 三葉結び目

$$Q_L(x) = 2x^2 + 2x - 3$$

$$Q_L^*(x) = 2x^2 + 10x + 9$$

- 8 の字結び目

$$Q_L(x) = 2x^3 + 4x^2 - 2x - 3$$

$$Q_L^*(x) = 2x^3 + 16x^2 + 38x + 25$$

- 1 はじめに
- 2 予想
- 3 ずらし  $Q$  多項式
- 4 現時点までの成果**
- 5 トーラス結び目
- 6 絡み目の場合

# 現時点までの成果

- $(2,n)$  型のトーラス結び目
- 種数 1 の交代結び目  
種数 1 の 2 橋結び目と種数 1 の交代プレッツェル結び目
- 11 交差までの結び目すべて (801 個)

- 1 はじめに
- 2 予想
- 3 ずらし  $Q$  多項式
- 4 現時点までの成果
- 5 トーラス結び目**
- 6 絡み目の場合

# トーラス結び目

$T_n$ :  $(2, n)$  型のトーラス結び目

$Q(T_n)$ :  $T_n$  の  $Q$  多項式

$T_n^*$ :  $T_n$  のずらし  $Q$  多項式

$$Q(T_{n+}) + Q(T_{n-}) = x(Q(T_{n\infty}) + Q(T_{n_0}))$$

$$Q(T_n) = x(Q(T_{n-1}) + 1) - Q(T_{n-2})$$

## ずらし $Q$ 多項式

$$T_n^* = (x + 2)(T_{n-1}^* + 1) - T_{n-2}^*$$

$T_n^*$  の  $x^i$  の係数を  $C_n^i$  とする ( $i \geq 0$ ).

$i \geq n$  のとき  $C_n^i = 0$  ( $T_n^*$  は  $n-1$  次).

# トーラス結び目

## 主張

$\forall n \geq 1$ : 奇数,  $C_n^i \geq 0$  ( $0 \leq i \leq n-1$ ) が成り立つ.



# トーラス結び目

$n$ に関する帰納法を用いる.

- $n = 1$  のとき

$$T_1^* = 1 \implies C_1^0 = 1 \quad \text{ゆえ成立.}$$

- $n = 2$  のとき

$$T_2^* = 5 + 2x - \frac{2}{x+2} \implies C_2^1 = 2, C_2^0 = 5 \quad \text{ゆえ成立.}$$

$C_k^t$  ( $1 \leq k \leq n-1$ ,  $0 \leq t \leq k-1$ ) について,  $C_k^t \geq 0$  が成り立つと仮定する.

このとき,

$$C_n^{n-1}, \dots, C_n^0 \geq 0$$

を示せばよい.

# トーラス結び目

- $C_n^{n-1}$  ( $n \geq 3$ )

ずらし  $Q$  多項式

$$T_n^* = (x + 2)(T_{n-1}^* + 1) - T_{n-2}^*$$

漸化式より,  $C_n^{n-1} = C_{n-1}^{n-2}$  が成り立つ.

$$C_n^{n-1} = \dots = C_2^1 = 2 \geq 0$$

# トーラス結び目

- $C_3^1 = 10$  ( $T_3^* = 2x^2 + 10x + 9$ )
- $C_n^{n-2}$  ( $n \geq 4$ )

## ずらし $Q$ 多項式

$$T_n^* = (x + 2)(T_{n-1}^* + 1) - T_{n-2}^*$$

漸化式より,  $C_n^{n-2} = C_{n-1}^{n-3} + 2C_{n-1}^{n-2}$  が成り立つ. よって,

$$\begin{aligned} C_n^{n-2} &= C_{n-1}^{n-3} + 2C_{n-1}^{n-2} \\ &= C_{n-1}^{n-3} + 4 \\ &= (C_{n-2}^{n-4} + 4) + 4 \\ &= \dots \\ &= (C_3^1 + 4) + 4 + \dots + 4 \\ &= 10 + 4(n-3) \\ &= 4n - 2 \geq 0 \end{aligned}$$

# トーラス結び目

- $C_n^i$  ( $2 \leq i \leq n-3$ )

## ずらし $Q$ 多項式

$$T_n^* = (x+2)(T_{n-1}^* + 1) - T_{n-2}^*$$

漸化式より,  $C_n^i = C_{n-1}^{i-1} + 2C_{n-1}^i - C_{n-2}^i$  が成り立つ. よって,

$$\begin{aligned} C_n^i &= C_{n-1}^{i-1} + 2C_{n-1}^i - C_{n-2}^i \\ &= C_{n-1}^{i-1} + 2(C_{n-2}^{i-1} + 2C_{n-2}^i - C_{n-3}^i) - C_{n-2}^i \\ &= C_{n-1}^{i-1} + 2C_{n-2}^{i-1} + 3C_{n-2}^i - 2C_{n-3}^i \\ &= C_{n-1}^{i-1} + 2C_{n-2}^{i-1} + 3(C_{n-3}^{i-1} + 2C_{n-3}^i - C_{n-4}^i) - 2C_{n-3}^i \\ &= C_{n-1}^{i-1} + 2C_{n-2}^{i-1} + 3C_{n-3}^{i-1} + 4C_{n-3}^i - 3C_{n-4}^i \\ &= \dots \end{aligned}$$

# トーラス結び目

$$\begin{aligned}C_n^i &= C_{n-1}^{i-1} + \cdots + (n - (i + 2))C_{i+2}^{i-1} + (n - (i + 1))C_{i+2}^i \\ &\quad - (n - (i + 2))C_{i+1}^i \\ &= \sum_{j=1}^{n-i-2} jC_{n-j}^{i-1} + (n - i - 1)(4(i + 2) - 2) - 2(n - i - 2) \\ &= \sum_{j=1}^{n-i-2} jC_{n-j}^{i-1} + 4(n - i - 1)(n + 1) + 2 \geq 0\end{aligned}$$

# トーラス結び目

- $C_n^1$   
漸化式より,  $C_n^1 = C_{n-1}^0 + 2C_{n-1}^1 + 1 - C_{n-2}^1$  が成り立つ. よって,

$$\begin{aligned}C_n^1 &= C_{n-1}^0 + 2C_{n-1}^1 + 1 - C_{n-2}^1 \\&= C_{n-1}^0 + 1 + 2(C_{n-2}^0 + 2C_{n-2}^1 + 1 - C_{n-3}^1) - C_{n-2}^1 \\&= (C_{n-1}^0 + 1) + 2(C_{n-2}^0 + 1) + 3C_{n-2}^1 - 2C_{n-3}^1 \\&= (C_{n-1}^0 + 1) + 2(C_{n-2}^0 + 1) \\&\quad + 3(C_{n-3}^0 + 2C_{n-3}^1 + 1 - C_{n-4}^1) - 2C_{n-3}^1 \\&= (C_{n-1}^0 + 1) + 2(C_{n-2}^0 + 1) + 3(C_{n-3}^0 + 1) + 4C_{n-3}^1 - 3C_{n-4}^1 \\&= \dots\end{aligned}$$

# トーラス結び目

$$\begin{aligned}C_n^1 &= ((C_{n-1}^0 + 1) + \cdots + (n-3)(C_3^0 + 1)) + (n-2)C_3^1 - (n-3)C_2^1 \\ &= \sum_{j=1}^{n-3} j(C_{n-j}^0 + 1) + 10(n-2) - 2(n-3) \\ &= \sum_{j=1}^{n-3} j(C_{n-j}^0 + 1) + 8n - 14 \geq 0\end{aligned}$$

# トーラス結び目

- $C_n^0$

ここで、負冪について考える。

漸化式より、 $T_n^*$ において

- $n$ が奇数のとき、 $T_n^*$ は負冪なし
- $n$ が偶数のとき、 $\pm \frac{2}{x+2}$

そこで、 $C_n^{-1}$ を以下のように定義する。

$$C_n^{-1} = \begin{cases} 0 & (n: \text{奇数}) \\ -2 & (n \equiv 2 \pmod{4}) \\ 2 & (n \equiv 0 \pmod{4}) \end{cases}$$



# トーラス結び目

これを用いて以下を示す.

$$C_i^0 > C_{i-1}^0 \quad (i \geq 2)$$

$n$ に関する帰納法を用いる.  $C_1^0 = 1$ ,  $C_2^0 = 5$  で,  $C_2^0 > C_1^0$  が成立.  
 $C_i^0 > C_{i-1}^0$  が  $i \leq n-1$  で成立すると仮定する. 漸化式より,

$$\begin{aligned} C_n^0 &= 2C_{n-1}^0 + 2 + C_{n-1}^{-1} - C_{n-2}^0 \\ &\geq 2C_{n-1}^0 - C_{n-2}^0 \\ &= C_{n-1}^0 + (C_{n-1}^0 - C_{n-2}^0) \\ &> C_{n-1}^0 \end{aligned}$$

ゆえに,  $C_n^0 > C_{n-1}^0 > \dots > C_1^0 > 0$  となり示せた.

- 1 はじめに
- 2 予想
- 3 ずらし  $Q$  多項式
- 4 現時点までの成果
- 5 トーラス結び目
- 6 絡み目の場合

# 絡み目の場合

## 予想

$Q$  多項式の最高次の係数が正ならば、ずらし  $Q$  多項式は分母の多項式も分子の多項式も全係数が正となる。すなわち

$$Q(x+2) = \frac{g(x)}{f(x)}$$

ここで、 $f(x)$ 、 $g(x)$  は正係数多項式

- 実際、 $f(x) = (x+2)^n$  となる。

# 絡み目の場合

## Example

ホップ絡み目に対して

$$Q(x) = 2x + 1 - \frac{2}{x}$$

$$Q(x+2) = \frac{2x^2 + 7x + 4}{x+2}$$